

不動院寺報

不動院と檀家と

第5号 令和3年12月
 発行人 住職 片岡卓治
 編集人 総代長 鈴木裕士

住職挨拶



昨年に引き続き、私たちを悩ませ続けたコロナ禍、一日でも早い収束を願うばかりです。今年は何かと話題の尽きない一年でしたが、残りもわずか。檀家様の中には、受験生を抱えるご家庭もありません。今がまさしく追い込みの時期、神経をピリピリさせているお子様への対応には、苦慮されているのではないのでしょうか。我が家も二人の受験生を抱えている故、親御さんの胸中お察し申し上げます。

さて、不動院客殿前に建つ六角堂は平成二十五年、先代住職によって建立されました。堂内には大網区が所有する不動明王像、菅原道真像、虚空蔵菩薩像などの四体の像が安置されています。菅原道真公は言わずと知れた学問の神様、虚空蔵菩薩は、願を掛けると記憶力が良くなると云われています。ともに受験生にとっては頼もしい存在。我が家の受験生もご加護にあずかれるといいのです。が……。

三學山 不動院 岩崎寺

《追想 総代 飯田忠司さん寄稿》

今から約七十五年位前、私が物心ついたころのこと。お寺の境内は、近所のわんぱく仲間四〜五人の遊び場になっていました。数本の大杉の間に山門があり、まずその山門の天井に登り、次に本堂の高い床下を走り抜けて裏にある防空壕へ早くたどり着く競争が決まったコース。その他にも遊ぶところは沢山あり、朝から暗くなるまでお寺で過ごすことは度々でした。

また不謹慎な話ですが、子供心に楽しかったのは「ジャীব」(お葬式)でのゼニ拾いでした。葬式の列が長々とお寺に入り、本堂前で棺に向かかって撒金をするので、地面に落ちたそのお金を拾うことです。当時お小遣いはほとんど無く食べ物にも不自由した時代ですので、「拾ったお金は全部その日のうちに使わなければならない」と言われていたこのお金は、親にも断りなく使うことができ、子供の私にとってものすごく有難く思ったものでした。早速店に走り給やお菓子など甘いものを買ったことは今でも鮮明に蘇ります。そしてお寺と言えば墓地ですが、不動院の墓地は桜の木が沢山あって、春には桜の甘い匂いがただようなか、花吹雪がお寺全体に舞い上がりそしてヒラヒラと落ちてくる様子は「見事」の一言に尽き、長い間それを眺めていたのも懐かしい思い出です。お寺は、一般の方にはお墓参り等特別な所でしようが、私には日常を楽しく過ごし私を育ててくれた場所でもあります。(次号に続く)

不動院ガイド

弘法大師修行尊像

本堂手前右側



平成9年 先代 住夫和尚建立

ご存知の方が多くかと思いますが、弘法大師は真言宗の開祖で、幼名を真魚(まお)、後に空海と称しました。弘法大師の名は、死後、醍醐天皇から送られた諡号(生前の徳行を称えて送られる呼名)です。

西暦七七四年六月に、現在の香川県善通寺市に生れ、幼少より聡明だったことから伯父から漢詩などを習い、さらに十五歳で上京し学問に精を出しました。しかしながら、人生の根本問題を解明するには仏教を学ぶことが必要と考えて仏教の道へ。各地の山野をめぐって修行・研鑽を続けていた時、密教の根本経典を目にしますが、難しく理解できないため、三十一才の時、暴風と漂流に合いながら五か月をかけて唐の国(現在の中国)長安へ渡りました。持ち前の能力に加え精神的に学んだ結果、普通の人では一生かかっても修得出来ない中、わずか二年余で密教を習得し帰国したのでした。

なお、根本道場として京都の東寺を、その後高野山をそれぞれ天皇から賜り、生地の善通寺と合

わせ弘法大師三大霊場と言われているほど筆が達者なだけでなく、書道の三筆と言われるほど筆が達者なだけでなく、地質学・土木工学にも造詣が深く、真偽のほどは不明ですが、弘法の湯や弘法の井戸と言われるものが全国にたくさんあることは皆さんご存知のとおりです。中でも香川県にある満濃池は改修に困難を極める中、天皇の命により補修に携わって、アーチ式の堤防を築くなど、全国でも屈指の人工ため池を造ったことは事実として伝承されており、その後何度か改修されながら現在も利用されています。



写真は現在の満濃池、当時の池面積81町歩、現在は138町歩、日本最大

この人にインタビュー

このコーナーは、編集人からの幾つかの設問にお答えいただく、不動院関係者へのインタビュー記事です。

今回は主に上町・旭町西を担当し最高齢の世話人(?)と思われる桑原省三さんに登場いただきました。



Q 生まれた年月を教えてください。
A 昭和五年九月です。
(※浜口雄幸首相が東京駅で狙撃された年)

Q 世話人になられたのはいつですか？
A 平成二十三年八月からです。

Q 世話人になられたいきさつは？
A 前世話人塙さんから何度も話があり、さらに先代住職からの要請もありましたのでお受けしました。

Q 趣味は何でしょうか？
A ゴルフです。但しコロナで思うようにプレイできず残念です。(コロナ前は月三回コースへ)

Q 生活信条を教えてください。
A 『至誠努力』です。

Q 健康面で注意していることは？
A 一日の生活リズムを大切にしながら、地域活動(老人会)とゴルフで健康維持に努めています。

Q お勧めの観光地がありましたら教えてください。
A 長野県の北部です。四季の変化が大きく、春の新緑、秋の紅葉。特に北アルプスの残雪の美しさは格別です。また温泉が多くあることも魅力ですね。

不動院からのお知らせ

◎ 不動院のホームページを開設し、九月一日より運用を開始しました。不動院の成り立ち、歩み、墓地や永代供養塔の案内を掲載しております。日々の様子などもお知らせしていきたいと考えています。『三學山不動院』で検索してみてください。

◎ 夏は暑く、冬は寒い本堂の環境改善のために、エアコン設置工事を予定しております。これによって、多くの檀家様の集まるお施餓鬼会や暑い時期の法要の際も、快適な環境のもとで参加することができると思っています。来年度の一月中旬に着工する予定です。

◎ 上郷の生駒石材店様が、永代供養塔前の花立て(三本立て)一対を寄贈してくださいました。お彼岸には全ての花立てが一杯になっていました。さらに、本堂南側、基壇の葛石のずれを無償で研磨・修復してくださいました。生駒石材店様のご厚意に深く感謝申し上げます。

編集後記

今号の不動院ガイドでは弘法大師について案内しました。三年後は弘法大師生誕千二百五十年にあたり、真言宗豊山派では、来年秋から再来年秋にかけて、各ブロック単位で長谷寺への登嶺団参を計画しているとのこと。私達不動院檀家としても皆さんで参拝を行えればと思っており、今から体調と財布の準備をしていただければ幸いです。

〔編集人〕 総代長鈴木 裕士